



ひだまり



行事のお知らせ



2日(木)
3日(金)
17日(金)
21日(火)

バスハイク①
バスハイク②
ひだまり運動会
総合防災訓練

保健のお知らせ



1日(月)
6日(月)
7日(火)
9日(木)
22日(水)

体重測定(Ⅲ班)
体重測定(Ⅱ班)
体重測定(Ⅰ班)
整形外科相談
内科相談

今回は利用者様が、創作活動で取り組まれている紙工芸と革工芸の作業について、抜粋してご紹介します。

紙工芸は材料となる牛乳パックをお湯でふやかし、コーティングを剥がしたもの数日乾燥させます。それを利用者様が細かくちぎった後、ミキサーで粉碎して紙すきをして乾燥させます。そして、カードやハガキとなる紙が出来上がります。



細かくちぎられた紙をミキサーにかけています。ミキサーからあふれたり、熱くならないように注意して行います。



紙すきを行い、水を切るところです。水の切り具合も仕上がりに影響するため、丁寧に押して水を切れます。



乾燥後、平らに伸ばしや裁断を経て、製品の材料となります。

革工芸の刻印作業は、革の表面に花や動物等の模様を木槌でたたいてつけていきます。製品の仕上がりを左右する重要な工程で、鮮やかな模様を刻むには、根気と集中力が必要となります。利用者様と職員で協力して、この作業に取り組んでいます。



きれいに模様が刻まれるよう、木づちでしっかりと金具をたたきます。



利用者様が安全かつ集中して取り組めるよう、サポートさせて頂いています。



刻印後は色付け等、まだまだ作業は続きます。



革工芸と紙工芸の製品は、11月開催のおおぞらまつりで販売する予定です。ぜひお越しください。

~ご協力のお願い~

ご不要になりましたレジ袋・タオル・布切れ等ありましたら、ご寄付をお願いします。

本紙は、御利用者様と職員の共同制作です。